



山形県獣医師の



ススメ



山 形 県

山形県ってこんなトコ

さくらんぼの里、もう一つの日本「やまがた」

山形県は、東北地方の日本海側に位置し、東京から概ね北に 300km、山形新幹線で約 3 時間の距離にあり、一般には、全国生産量の 7 割を占める「さくらんぼ」と鮮やかな四季で知られています。

蔵王、月山、鳥海、吾妻、飯豊、朝日と日本百名山に数えられる秀麗な山々に囲まれ、南から連なる米沢、山形、新庄の各盆地と庄内平野を「母なる川」、最上川が流れる、美しい自然に恵まれた地域です。ここでは、人の住む集落、市街地と農地や里山が綾をなし、自然と人間が調和して存在する、「もう一つの日本」が広がっています。

江戸時代、俳聖・松尾芭蕉は「奥の細道」の全行程 156 日のほぼ三分の一にあたる 43 日間を山形県で過ごし、その旅は出羽三山を目指した「心の旅」とも言われるように、いにしえの昔から、山形県は精神文化の地とあがめられてきました。

全国第 9 位の 93 万 ha の県土面積は、その地勢や江戸時代の幕藩体制のなごりから、方言や食べ物など、文化も少しずつ異なり、南から、置賜(おきたま)、村山(むらやま)、最上(もがみ)、庄内(しょうない)の 4 つの地域に大きく区分されています。
(山形県 HP より転載)





山形県の獣医師職員

◇山形県の獣医師職員の配属先◇

1	防災くらし安心部	食品安全衛生課	3名
		食肉衛生検査所（置賜・庄内）	23名
2	健康福祉部関係	保健所（4カ所）	11名
		衛生研究所	4名
3	農林水産部関係	畜産振興課	3名
		家畜保健衛生所	41名
		（中央、最上、置賜、庄内の4カ所）	
		畜産研究所	3名
		養豚研究所	1名
合 計			89名

獣医師 — ヒトと動物の「生命」を科学的に見つめるスペシャリスト —

獣医師の職務は幅広い分野に及びますが、いずれの職務もヒトや動物の「生命」や「健康」と密接な関係にあります。具体的な職務には、畜産に関係する分野として、家畜の伝染病の予防や家畜疾病等の病気の診断【家畜保健衛生所】、家畜・家禽の改良および研究等【畜産研究所、養豚研究所】や、公衆衛生に関係する分野として、食品衛生の確保や動物愛護の普及啓発【保健所】、人獣共通感染症の研究等【衛生研究所】、と畜検査【食肉衛生検査所】があります。いずれも獣医学で培った技術や知識を大いに発揮できる職務内容です。近年、全国あるいは全世界的に問題となっているCSF（豚熱）・ASF（アフリカ豚熱）、牛海綿状脳症（BSE）や高病原性鳥インフルエンザ、そして口蹄疫などの対策で中心的な役割を果たしているのは獣医師であり、今後も幅広い分野での活躍が期待されています。また、獣医師を配置した研究施設が畜産、公衆衛生の分野ごとに設置されており、研究施設以外の職員に対しても各種研修制度が設けられ、学会等への参加も盛んです。

山形県の獣医師の職場



<<山形県の獣医師の募集に関するQ&A>>

Q:令和6年度の獣医師の受験案内はいつ出るの？

A：令和6年4月26日に公開されました。インターネットで検索、ダウンロードができます。また、「やまがたe申請」上でインターネットによる受験申込ができます。

山形県ホームページ

<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosikentop/index.html>

Q:給料はどうなるの？

A：山形県に採用された獣医師の初任給は、**約28万円**（月額5万円の初任給調整手当を含む）となりますが、ほかに、家畜保健衛生所又は食肉衛生検査所勤務の場合、**16,000円~24,000円**が「給料の調整額」として支給されることとなり、年収（県人事課試算）でみると、全国上位となっております。

Q:どんな職場があるの？

A：大きく農林水産部関連職場と健康福祉部・防災くらし安心部関連職場があります。具体的には、家畜保健衛生所・畜産研究所・養豚研究所、保健所・衛生研究所・食肉衛生検査所などがあります。

ちなみに、山形県職員として活躍している獣医師は、88名（令和6年4月1日現在）です。

Q:夏休みなどに、そちらの職場を見せていただけますか？

A：大歓迎です。日程や希望に合わせて調整をいたしますので、是非御相談ください。お待ちしております。家畜衛生対策推進協議会（事務担当：(公社)中央畜産会）が行っている行政体験研修（インターンシップ）の受入れも行っています。

連絡先：

農林水産部畜産振興課（県庁内）	023-630-3350	担当	森 大輝
防災くらし安心部食品安全衛生課（県庁内）	023-630-2621	担当	片桐 謙

<<給与・福利厚生(山形県獣医職)>>

○初任給^{*}(R6.4.1 現在)

衛生研究所	310,000 円
食肉衛生検査所	306,100 円
家畜保健衛生所	298,100 円
畜産研究所	291,200 円
養豚研究所	291,200 円
上記以外	282,100 円

※月額 50,000 円を限度とした初任給調整手当、職種に応じた調整額を含む。
他に住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、扶養手当等の諸手当が要件に応じ支給されます。



○期末・勤勉手当(ボーナス R6.4.1 現在)

6, 12 月に計 4.45 月分

○健康管理

各種健康診断
メンタルヘルス

○休暇関係(一部抜粋)

土、日、祝日休み(カレンダー通りの休暇)

有給休暇 年 20 日(最大 20 日繰越可:合算 40 日)

夏季休暇 年 6 日(7~9 月に取得)

リフレッシュ休暇 5 日(30, 40, 50 歳になる年)

リフレッシュ年休 3 or 5 日^{*}(35, 43, 47, 53, 56, 61 歳になる年)

※有給休暇の内数として

結婚休暇 7 日

育児休暇 最大 3 年(1 歳まで育休手当金あり)

男性職員の育児参加休暇 5 日

家族看護休暇 年 5 日

忌引休暇 最大 10 日



山形の んめもの(美味しいもの)



さくらんぼ



ラフランス

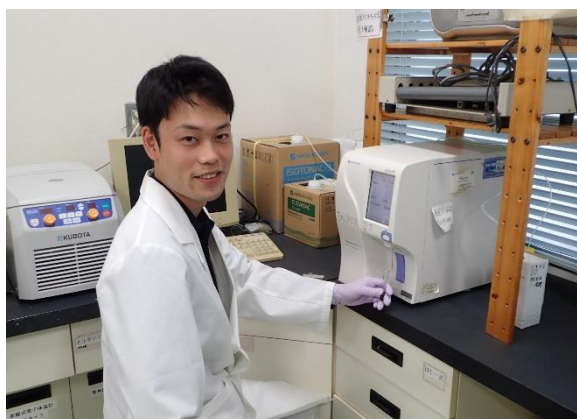


板蕎麦



山形牛

■獣医師の職場■ 家畜保健衛生所



令和4年度採用
川久保 和希 獣医師
(庄内家畜保健衛生所)

現在の所属と担当業務(家畜保健衛生所)

庄内家畜保健衛生所では、疾病の検査・診断、家畜の伝染病の予防、飼養管理についての指導、獣医事、薬事に関する業務などを行っています。私の主な担当業務としては、ウイルス・細菌・寄生虫の検査や豚熱予防ワクチンの接種、鶏の衛生指導・検査などですが、他の業務や研修会等にもたくさん参加させてもらっています。

1年間仕事をしてみて

あっという間の1年間でしたが、たくさん勉強する機会をいただきました。いろいろな畜種(牛豚鶏羊など)と関わったり、疾病を特定するために解剖や様々な検査を行ったりと、充実した日々を送れました。家畜の伝染病の検査や予防だけでなく、農場の衛生指導や医薬品の使い方、鳥インフルエンザ対応など家保職員の職域は幅広いので、その人なりのやりがいを見つけやすいのが良い点なのかなと感じています。

受験者、県外の方へ

私は神奈川県出身ですが、就職先に山形県を選びました。山形を選んだ理由は様々ありますが、一番の決め手は職場の見学に来た際のイメージが良かったことでした。また私の勤務地である庄内地域は、海と山に囲まれた自然豊かな場所です。海を見ながら農場へ向かうのは気持ちがいいですし、景色のいい山で牛や羊を追いかけるのは、とても癒されます。加えて山形県は米、肉、酒、果物などおいしい食材だらけです。是非一度、見学に来てみてはいかがでしょうか。

■獣医師の職場■ 家畜保健衛生所



(病性鑑定担当)

平成31年度採用

高橋宏充 獣医師
(中央家畜保健衛生所)

現在の所属と担当業務(中央家畜保健衛生所)

中央家畜保健衛生所は一年を通して美しい景色を堪能できる山形市にあり、獣医師16名と庶務担当1名の計17名で構成されます。県内に4か所ある家畜保健衛生所の中で唯一、細菌・ウイルス・生化学・病理の4部門の精密検査を行う病性鑑定施設を有し、その中で私はウイルス検査を担当しています。疫学情報や臨床症状、剖検所見などから関連するウイルスを推測し、分離培養・遺伝子検査・抗体検査等により家畜のウイルス性疾病の原因究明・診断を行っています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

県職員獣医師としての魅力は、自分の仕事が人の役に立っていることを肌で感じられるところだと思います。家畜保健衛生所は家畜伝染病の予防や慢性的な感染症の低減のために畜産農家さんとお話する機会が多くあります。検査により病原体を特定することはもちろん、1件1件の畜産農家さんの実情に合わせて具体的な対策を提案することが大切であり、「おかげさまで改善したよ。どうもありがとう。」と言ってもらった時は、この上ない喜びを感じます。また、多岐にわたる業務を通して幅広い職種の方々とお話できるのも魅力の一つです。

ウイルス担当はまだ1年目のため駆け出しですが、先輩方から検査手技を学んだり、文献から最新知見を得たりと充実した日々を送っています。山形県には研究成果を全国へと発信した方々もたくさんいらっしゃるので、家畜衛生に寄与できるような研究にも力を入れていきたいと思っています。

受験者へのメッセージ

県職員獣医師は、大学で学んだ知識を惜しみなく生かせる、とてもやりがいのある仕事です。山形県の獣医師の仲間として、一緒に楽しく働きましょう！

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



平成27年度採用
福士 昂 獣医師
(現：置賜家畜保健衛生所)

現在の担当業務(庄内食肉衛生検査所)

私が所属している庄内食肉衛生検査所では、安全な食肉の流通の確保のために、牛や豚等の家畜を対象とした「と畜検査」を行っています。

私は検査指導課に所属しており、と畜場や付設の食肉処理施設に対する衛生指導業務、調査研究業務や検査で得られた疾病データを生産者等に還元する業務などを担当しています。

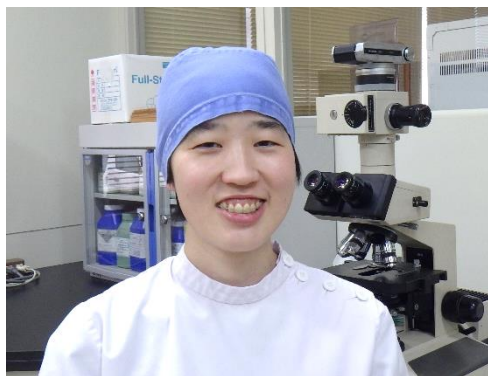
県職員になって思うこと

山形県獣医師として、庄内食肉衛生検査所に配属され1年が経過しました。職務の一つに「と畜検査」という仕事があります。と畜検査は、食肉となる豚や牛等を一頭一頭検査して合格したものだけを流通させる、言わば関門のような重要な存在です。私は、山形県衛生獣医職員として働いてから人間の生活に必要な「食」について様々な視点で考えることができ、私たちの仕事が消費者の安全確保や安心の醸成につながっていることを身近に感じることができました。初めての社会人で不安なことはたくさんありましたが、上司や先輩の支えのおかげで安心して仕事に取り組むことができます。と畜検査は常に責任を問われる仕事ですが、とてもやりがいのある仕事だと思います。

受験者へのメッセージ

公務員獣医師は大学で学んだ様々な専門的知識が活かされていることを肌で感じられる世界だと思います。また、休暇制度や福利厚生が充実しているので、計画的に自分の趣味の時間を作ることもできます。山形県には豊かな大自然の恵みを受けた四季を味わえる美味しい食材がいっぱいあります。公務員獣医師がどのような仕事をしているか分からない方もいらっしゃると思います。まずは、山形県のインターンシップ制度を利用して職場の雰囲気を感じてみてください。皆さんと一緒に山形県で仕事をできる日を楽しみにしています。

■獣医師の職場■ 食肉衛生検査所



令和3年度採用
藤倉 玲奈 獣医師

現在の担当業務(庄内食肉衛生検査所当時)

庄内食肉衛生検査所では、消費者に安全で衛生的な食肉を提供するため、と畜場に搬入された牛や豚等の家畜が食肉になるまで1頭ごとにと畜検査を行い疾病排除に務めるとともに、と畜場内の衛生監視指導も行っております。私は、試験検査課に所属しており、主にと畜検査業務、細菌検査及び食肉の安全性向上のための調査研究を行っております。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

日本では、スーパーで売っていたり、飲食店で提供されたりするお肉の安全性を疑う人はあまりいないと思います。その当たり前の安心を、獣医師が支えています。と畜検査員には、と畜検査だけではなく、と畜場や付設食肉処理施設を見て、施設の衛生管理を確認し、助言や指導を行ったり、検査や調査研究で得た知見を各種研修会や学会等で発表したりという業務もあります。と畜場で処理されたものの流通範囲はとても広いので、食の安全に広く貢献できることにやりがいを感じています。

受験者へのメッセージ

私は、入庁してからずっと庄内食肉衛生検査所での勤務なので、他の職場のことはわかりませんが、休みがとりやすくほとんど毎日定時で帰れるので、自由に使える時間が多いと感じています。仕事以外の時間も充実させたい方には、すごくいい職場だと思います。

■獣医師の職場■ 保健所



平成31年度採用
片桐 謙 獣医師
(現：食品安全衛生課)

担当業務(庄内保健所当時)

私は庄内保健所で衛生獣医師として、主に食品衛生業務、狂犬病予防業務、動物愛護業務を担当しています。

食品衛生業務としては、飲食店（旅館、食堂、居酒屋等）、食品販売施設（魚、肉、乳等）、食品製造施設（菓子、そうざい等）の開設相談、申請受付、立入検査等を行い、施設の基準を満たしているか等を確認しています。食品関係業者や一般消費者に対して食品衛生講習会も行っています。

狂犬病予防業務としては、飼い主が見つからない犬の捕獲や、飼い主に対する登録・狂犬病予防注射の指導等を行っています。

動物愛護業務としては、飼い主が諸事情で飼えなくなった犬、猫の引取り、負傷動物の保護、動物取扱業者（ペットショップ等）への監視指導等を行っています。収容された犬、猫は、譲渡判定を行い、新しい飼い主へ譲渡しています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

保健所における獣医師の業務は主に公衆衛生分野にあたります。獣医学の中ではどうしてもマイナーに捉えられがちな分野なのですが、食品営業施設の衛生監視や、食中毒事件発生時の調査・対応などの業務を通して、臨床の現場では得られない、県民の方々の健康を支えているという充実感を感じることができる点が魅力的だと思います。

また、保健所における獣医師は、食品衛生業務の他に動物愛護・管理業務も行います。動物病院にて怪我や病気の動物が必死に救われている一方で、全国では飼い主の身勝手な事情で飼えなくなった健康な犬・猫が多く処分されているのが現状です。近年、これらの殺処分を少なくしようと環境省、各自治体、動物愛護団体が殺処分を減らそうと努力しています。このような状況の中で、保健所で勤務する獣医師として、最前線で飼い主に対する飼い方指導、動物取扱業者に対する適正な取り扱いを指導することで、命を救うことができることに非常にやりがいを感じます。

受験者へのメッセージ

公務員獣医師は一か所の職場のみに勤務するのではなく、数年に一度転勤があります。そのため、臨床分野から公衆衛生分野まで、自分が持っている獣医師としての知識・技術を余すことなくフルに活用することができます。様々な分野で活躍できる獣医師を目指してみませんか？皆さんと一緒に仲間として働けることを期待しています！

■獣医師の職場■ 衛生研究所



平成31年度採用
鈴木 麻友 研究員

現在の担当業務(衛生研究所)

私が所属する微生物部では、県内で発生した感染症や食中毒についての検査、研究を行い、県民の方々の生活と健康を支える仕事をしています。中でも私は細菌担当として、主に結核菌や腸管出血性大腸菌の分析をしています。

結核では、遺伝子解析により感染源や感染経路を追究したり、結核患者の接触者が結核に感染しているかどうかを調べたりしています。腸管出血性大腸菌感染症では、県内保健所で分離された菌株について遺伝子解析を行い、食中毒の広域発生事案の発生探知に貢献しています。この他にも多種多様な細菌感染症の検査を行い、県内の感染症の発生動向把握に努めています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

衛生研究所は、検査を通じて県民の健康や食の安全を支えています。地域社会への貢献が、さらには国民の方々の生活を守ることに繋がる、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

衛生研究所には研究機関という側面もあります。日々の検査業務の中で湧いた疑問点や仮説を追究し、新たな発見を世間に公表することは非常に意義があることだと考えています。歴代の先輩方が多くの論文を発表していますし、業務の傍ら社会人学生として博士号を取得した職員もあり、全国的に見てもかなり研究熱心な県と言えます。

私は現在所属1年目ですので、先輩の方々の手厚いバックアップ体制の中で、検査技術を一つ一つ修得しているところです。ヒトの感染症の分野はゼロからのスタートでしたが、その一方でマダニ媒介性感染症については学生時代の知識が活かしていると感じる部分もあり、広く高度な知識を必要とする職場だと感じています。ひとりで色々な検査ができるようになるのが本当に楽しくて、検査を通じてもっと県民のみなさんの役に立ちたい！という思いで業務にあたっています。

受験者へのメッセージ

私の出身は神奈川県で、入庁を機に山形県に移住しました。他にも県外出身の先輩職員の方々が数多くいます。最初は不安もあるかと思いますが、職場の方を始め地域の方々もみんな優しく、全力でサポートしてくれます。ぜひ山形県で私たちと一緒に働きましょう！

■ 獣医師の職場 ■ 農業総合研究センター 畜産研究所



令和2年度採用
松村 裕文 研究員

令和2年度 入庁（中央家畜保健衛生所）
令和4年度 畜産研究所

担当業務

畜産研究所には、家畜改良部（肉牛）・飼養管理部（乳牛と地鶏）・草地環境部の3つの部があり、研究員17名のうち獣医師が3名所属しています。私の所属している家畜改良部では、「優良な県産種雄牛の造成と精液の供給」、「和牛のおいしさの研究」、「受精卵移植を活用した和牛増産」といった取り組みをしています。私の担当は、「OPU（経腔採卵）を活用した高能力繁殖雌牛の増産事業」や、家畜改良センターとの共同で実施している「ゲノミック評価を用いた和牛の産肉能力の予測の研究」といった業務です。他にも獣医師の業務として、飼養管理部では乳牛の飼養管理や繁殖に関連した研究、遺伝的高能力育成牛からの体外受精卵の生産・配布等の事業も行っています。また研究所で飼養している牛の日々の健康チェックや繁殖管理もしています。

県職員としての仕事のやりがい・魅力

畜産研究所で働くことの魅力は何といっても、「そこに牛がいる」ということではないでしょうか。牛の一生を追っていく中で生まれてくる興味や疑問を追及し、最終的に研究成果や事業成績として畜産現場へ還元していくことを目標に、自ら計画を考え、行動していくことができるのは畜産研究所ならではの魅力です。大学では繁殖や大動物の研究室ではなかった自分も、ここに来て初めて「OPU」、「ゲノミック評価」といった技術に携わるようになり、日々牛に囲まれながら知識を増やしていけるのは大きなやりがいを感じます。また、畜産研究所には畜産職の研究員や牛の扱いのプロである技能員の方々がいるので、飼料のことや繁殖・分娩管理、血統についてなど、聞きたいことをすぐに相談できる環境であり、非常に勉強になっています。

受験者へのメッセージ

ここに書いてきた内容は山形の公務員獣医師としての仕事のほんの一部です。実際には配属先も多岐にわたりいろいろな選択肢があります。また、福利厚生が充実しているので、ワークライフバランスを考えつつ仕事をしたい方にもおすすめです。自分は山形には縁もゆかりもない身ですが、静かで食べ物は何でもおいしく、自然も多くある一方で、都会へのアクセスも良い山形はとても生活しやすいと感じます。まずはインターンシップや説明会等で、職場の雰囲気を感じ、将来自分がここで働くかもしれないというイメージをしてみて、何か惹かれるものがある場合は、思いきって山形の公務員獣医師として一緒に楽しく仕事をしてみませんか？

研究発表

●農林水産部

「畜産関係業績発表会」 令和5年度発表演題

日常業務に関連した事業、調査、研究等の業績について、発表討議を行い、今後の畜産関係事業の改善向上に資することを目的とし、毎年実施している。

- 1 牛ウイルス性下痢のPI牛が多発した大規模酪農場における発生動向の分析と防疫対応
- 2 牛マイコプラズマ乳房炎発生農場における分子疫学解析および清浄化に向けた対応
- 3 管内公共放牧場でのワラビ中毒発生予防への取組み
- 4 家さん農場での飼養衛生管理基準遵守に向けた取組み～高病原性鳥インフルエンザ発生を経験して～
- 5 実効性ある精度管理体制構築に向けた取組み
- 6 豚熱ワクチン接種適期の簡便な推定法の検討
- 7 黒毛和種牛の母子一組に認められた偽牛痘
- 8 潜在的な地方病性牛伝染性リンパ腫発症牛摘発を目的としたインバースPCR法の有用性の検討
- 9 牛の好中球系及び好塩基球系への細胞分化を伴う急性骨髄性白血病を疑った一症例
- 10 鶏大腸菌由来保存菌株の疫学マーカー解析による遡り調査と薬剤耐性の動向

●防災くらし安心部

「食品衛生・生活衛生研修会」 令和5年度発表演題(抜粋)

- 1 顎口虫皮膚爬行症の一症例について
- 2 管内事業者における大規模食鳥処理場の建設構想に関する一考察について
- 3 めん羊の細菌汚染調査に基づく衛生指導について
- 4 馬刺しを加工した食肉処理施設での腸管出血性大腸菌食中毒事例について
- 5 と畜場における馬の腸管出血性大腸菌汚染リスク調査

●受賞歴(一部)

日本獣医師会獣医学術賞 獣医学術奨励賞

「全身皮下気腫を呈し死亡した子牛からの *Paeniclostridium sordellii* の分離」 中央家畜保健衛生所 大橋郁代 R3

東北地区獣医師大会・三学会(地区学会会長賞受賞)

「豚抗 *Lawsonia intracellularis*(Li)抗体検出 ELISA 法の血清疫学調査への応用」 養豚試験場 齋藤友佳 H28

「*Mycoplasma bovis* のマクロライド耐性機構の解明と簡易検出法の開発」 中央家畜保健衛生所 小嶋 暢 H29

「と畜場搬入肉豚から検出された豚丹毒菌の由来調査」 庄内食肉衛生検査所 横内耕 H29

「絨毛心を呈したヒストフィルス・ソムニ感染症例とその発症機序の検討」 中央家畜保健衛生所 古田信道 H29

「山形県内と畜場における健康豚の *Escherichia albertii* 保菌状況及びその疫学的特長」 庄内食肉衛生検査所 佐藤 空見子 H30

東北地区獣医師大会・三学会(東北獣医師会連合会会長賞)

「山形県における犬猫由来マダニのマダニ媒介感染症病原体遺伝子保有状況」 衛生研究所 瀬戸順次 H30

日本獣医公衆衛生学会(東北地区学会会長賞)

「新型コロナウイルスゲノム解析の現状と課題」 衛生研究所 瀬戸順次 R3

●公開論文(一部)

- Seto J et al.: A case of laboratory cross-contamination of *Mycobacterium tuberculosis* identified by comparative genomics. *Int J Tuberc Lung Dis.*22:1239-1242,2018.
- Komabayashi K et al.: The largest measles outbreak, including 38 modified measles and 22 typical measles cases, Yamagata, Japan, 2017 in its elimination era. *Jpn.J.Infect.Dis.*71:413-418,2018.
- Seto J. et al.: Detection of modified measles and super-spreader using a real-time reverse transcription PCR in the largest measles outbreak, Yamagata, Japan, 2017 in its elimination era. *Epidemiol.Infect.* 146:1707-1713,2018.
- Matoba Y. et al.: The trends of human coronaviruses in Yamagata, Japan, in 2015 to 2016: Occurrence of OC43 outbreak in June 2016. *Jpn.J.Infect.Dis.* 71:167-169,2018.

各種制度

○研修制度

・農林水産部

家畜衛生講習会（農林水産省主催；主な開催場所 茨城県つくば市 動物衛生研究所）

基本講習会；2 週間

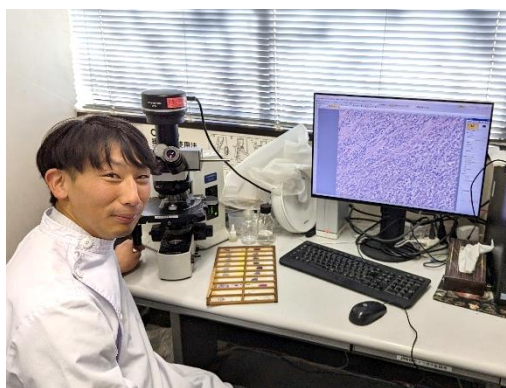
特殊講習会（牛疾病、豚疾病、鶏疾病、獣医疫学、海外悪性伝染病等）；4～10日

特殊講習会（病性鑑定；ウイルス、細菌、病理、生化学）；各約 7 ヶ月

・防災くらし安心部

と畜検査員微生物学研修（県単独事業；麻布大学）約 1 ヶ月

と畜検査員病理学研修（県単独事業；日本獣医生命科学大学）約 1 ヶ月



○人事交流制度

視野を広げ、知見を得るため、農林水産部（家畜保健衛生所）と防災くらし安心部（食肉衛生検査所）間で、概ね 2 年間互いの職場で勤務することがあります。

大学講義

高度な獣医学的知識と幅広い視野を有する獣医師は、家畜衛生、公衆衛生等自治体の業務に不可欠な人材であるため、博士号を有する職員等を大学に派遣し、公務員獣医師の職務内容・意義等について講義をおこなっています。

インターンシップ実習の受入

夏休み等の獣医学生の長期休暇時に、公務員獣医師のインターンシッププログラムを準備し、大学講義や大学訪問時等で連絡先を教えていただいた方（希望者）にインターンシップの情報提供を行います。このインターンシップを通じて、山形県と公務員獣医師の業務に対する理解を深めます。

H28 年度より、インターンシップ実習に参加する方に、旅費（上限 25,000 円）と宿泊費（上限 1 泊 5,000 円×5 泊まで）を助成する制度を設けました。詳しくは、お問い合わせください。



日本一の芋煮会